

海外での医療支援学ぶ

日本健康
心理学会

AMDA医師報告

岡山で開幕

日本健康心理学会第29回大会が19日、2日間の日程で岡山大（岡山市北区津島中）で始まり、初日は国際医療ボランティアAMDA（同伊福町）の活動に参加している佐藤拓史医師（51）＝同市出身、福岡市在住＝が海外で行った被災地支援などについて報告した。

佐藤医師は10月14、27日、大型ハリケーンに見舞われた中米ハイチで医療活動に参加。コレラが流行し、開設した治療センターには通路が埋まるほど患者が殺到したことなどを説明し、「医薬品調達、患者搬送など、世界か

ら来た組織が役割分担することで効果的な医療ができた」と振り返った。

さらに「活動では円滑に連携するため、他



ハイチで行った医療支援活動について報告する佐藤医師